

令和三年 節分厄除星まつり



●日時 令和三年二月五日（金）午後六時半～ 真言宗 金剛山 弘浄寺

節分と星まつりのおはなし・・・

節分とは季節の分かれ目をいい、実は年に四回あります。春から夏、夏から秋、秋から冬、冬から春ですね。その中でこの二月をどこでも「節分、節分」とよくいうのは、それは一年の始まりにあたるからです。え？一年の始まりはお正月でしょ！と思われるでしょう。確かにそうですが、現代の暦（カレンダー

）は明治五年に欧米諸国に合わせ改暦された暦（太陽暦）なので本来の暦とは約一ヶ月違うのです。

改暦前の日本では旧暦で生活し季節を表す言葉もすべて旧暦で唱えられています。例えば「新春のお

喜びを申し上げます」や「桃の節句」「七夕」などがそれにあたりますが現代では言葉と実際の季節とはか

け離れていますね。「新春の・・・」と言いましてもお正月はまだ真冬です。また三月はじめも「桃の節

句」と言いますがまだまだ桃の花が咲く兆しありません。七月はじめの「七夕」の時期は梅雨空で星を

眺めることなどできません。

もうお分かりでしょうか、この大自然と一致した本来の暦は旧暦であり、現在の暦は約一ヶ月のズレがあるのです。つまり二月はじめのこの節分が年のはじまりにあたるのです。

そして、当寺の真言宗では星まつり、とも言いましてご自分が司られているその年の星（当年星）を

供養し厄を払うのです。人もこの大宇宙の生き物であるわけですから人の一生もすべて自然の摂理と繋が

り宿命をもって生まれ、運命をたどり、いずれ亡くなるのです。この節分星まつりは運命を司る本命星、またその年の運氣を左右する「当年星」を護摩という炎を

あげ神仏を招き、供物や読経のお供えをし、祈念するわけです。そして大難は小難に、良いことはもつ

と良くなるようにと祈願し災難を除けるのです。生きているからこそ辛く、物事が思うようにはいきませ

ん、そんな時こそ天空の夜空を見上げご自身の星を覗いて祈ってください。必ず良い智慧が見つかるもので

すよ。真言密教（仏教の一つ）である当寺院では先に申し上げた星供養を修法できる寺院にな

ります。真言密教とは弘法大師空海が西暦八〇四年に遣唐使船で中国長安（現在の西安）より

渡りもちかえり、当時困窮していた日本を救済した教えです。



お参りにぜひー！いらして下さい どなた様でもお気軽にご参加できます

二月五日（金）午後七時〜護摩が始まります

* 厄除のお参りにお越し下さい。

* 護摩は火をあげますので煙たいと思いますがそれが厄除けになります。

午後8時半〜豆まき

* 仏様にお供えたお餅やお菓子も巻きますので頂かれますと
良い功德になります。お菓子など（なんでも可）の仏様へ
のお供えをできる範囲でお願い致します。



厄払いのご依頼について



● 護摩祈祷の後、お札をお授け致します

ご希望の方は左記の用紙にて一月二十九日（金）までお申込ください。

本厄、前厄、後厄の方は特別祈願をお勧めいたします

● 普通祈願料 三百円也（児童養護施設へ全額寄付）紙札お授け致します

■ 特別祈願 志納金 * 木札（大）お授け致します

※ 星まつり当日にお参りできない方も当寺院で護摩祈祷後、
お札をお授け致しますので周りの大切な方々へも気軽に声を
かけて頂きお申込みください。 * 別紙のお申込用紙が護摩木でお申込下さい。



* 裏面の厄除早見表をご覧ください

お申込みについて

お申込みはメールまたは左記の用紙でお願い致します office@goto-karate.com

お申込内容

- ① 氏名 ふりがな ② 年齢（数え歳） ③ ご住所 ④ ご連絡先 ⑤ 普通・特別

用紙でのお申し込みの方

節分厄払い申込用紙 厄年早見表は裏面をご覧ください

氏名には必ずふりがなを振って下さい * 年齢は数え歳をお書きください

◆ 氏名

・ 年齢 歳 普通・特別 ○と囲む

◆ 氏名

・ 年齢 歳 普通・特別

● ご住所

● ご連絡先

〈お願い〉

私は真言宗僧侶として親と暮らせない子供たちの支援活動をしています。この便利な世の中においてそういう子供たちが増加しているという現状に驚き、何かできることをという思いでお手伝いをしています。里親制度の勉強会や色々な活動をしている方にお会いし、自分でもできる限りのことをさせていただいています。

今回も例年通り普通祈願の全額を児童養護施設の子どもたちのところへ責任を持って寄付をさせていただきますのでこの機に厄除祈願をして頂くこと、皆様のご協力、御寄進をお願い申し上げる次第です。ご家族やご友人等にもぜひお声かけをしていただき出来る範囲で多くの皆様からの御寄進を募らせて頂ければと存じます。

真言宗 金剛山 弘浄寺

山主 後藤 寛浄

令和3年厄年早見表（数え年）

	前厄	本厄	後厄
幼年 4 才の厄	令和元年生れ	平成30年生れ	平成29年生れ
男女 13 才脂り		平成21年生れ	
女 19 才の厄	平成16年生れ	平成15年生れ	平成14年生れ
男 25 才の厄	平成10年生れ	平成9年生れ	平成8年生れ
女 33 才の厄	平成2年生れ	平成元年生れ	昭和63年生れ
女 37 才の小厄		昭和60年生れ	
男 42 才の大厄	昭和56年生れ	昭和55年生れ	昭和54年生れ
男女 61 才の厄	昭和37年生れ	昭和36年生れ	昭和35年生れ

※開運暦は年のはじめを節分からとしますので 節分(2月4日)までは前年の運勢をご覧ください

令和3年 災難よけを必要とする人

二黒 衰運に入る	九紫 表鬼門に入る	六白 八方ふさがり	三碧 裏鬼門に入る
平成28年生れ	平成12年生れ	平成24年生れ	平成27年生れ
平成19年生れ	平成3年生れ	平成15年生(男)	平成18年生れ
平成10年生(女)	昭和57年生れ	平成6年生れ	平成9年生(女)
昭和64年生(男)	昭和48年生れ	昭和60年生(男)	昭和63年生(男)
昭和55年生(女)	昭和39年生れ	昭和51年生れ	昭和54年生(女)
昭和46年生れ	昭和30年生れ	昭和42年生れ	昭和45年生れ
昭和28年生れ	昭和21年生れ	昭和33年生れ	昭和27年生れ
昭和19年生れ	昭和12年生れ	昭和24年生れ	昭和18年生れ
昭和10年生れ	昭和3年生れ	昭和15年生れ	昭和9年生れ



入り口はこちら

真言宗 金剛山 弘浄寺 ☎099-243-9831